

第51回鳥取市文化賞受賞者及び贈呈式について

○ 鳥取市文化賞とは

- ・本市の芸術・文化の振興に顕著な業績を上げた個人又は団体に対し文化賞を贈呈。
- ・昭和51年から令和7年（第50回）までに140名と7団体が受賞。

○ 第51回（令和8年度）文化賞受賞者

鳥取市文化賞選考委員会を8月26日に開催。

選考委員7名の審議により **2名の受賞が決定**。

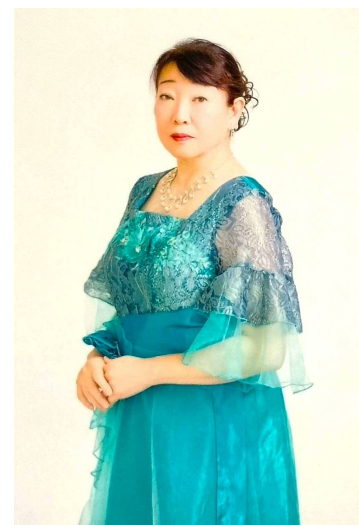
- ・尾前 加寿子（音楽）
- ・森 和之（陶芸）

○ 文化賞贈呈式

- ・日時 令和8年11月3日（火・祝）
午前9時30分～10時30分
- ・会場 鳥取市役所麒麟スクエア2階多目的室1



第50回（令和7年度）文化賞贈呈式



尾前 加寿子



森 和之

第51回 鳥取市文化賞受賞者

おまえ か ず こ
尾前 加寿子〔音楽〕



【受賞理由】

音楽大学を卒業の後、オーストリアのモーツァルテウム音楽院に3年間留学、そこで声楽、特に発声について学ぶ。鳥取市に帰省の後には、リサイタルや鳥取オペラ協会でのオペラ等、数多くのコンサートに出演しソリストを努める。

また、合唱団優喜の主要メンバーとしても活躍し多くの賞を受賞。Opera～s☆のメンバーとしても活動の幅を広げている。

合唱指導者等の活躍も顕著であり、鳥取女声合唱団団長・ヴォイストレーナー、みずばしょうコーラス指揮者、鳥取オペラ協会理事、鳥取市文化団体協議会理事を務める。しっかりとした発声を基礎とし第一線で活躍、鳥取市の音楽、特に合唱の質的向上に大きく貢献している。

【経歴】

- 昭和60年 岡山県作陽高等学校音楽科卒業
- 昭和63年 作陽音楽大学声楽科卒業、モーツァルテウムへ留学
- 平成3年 鳥取ゾリステン、鳥取声楽の会所属
- 平成4年 鳥取女声合唱団所属
- 平成7年 鳥取オペラ協会所属、愛真幼稚園 PTA コーラス指導者
- 平成10年 日進地区公民館コーラス指導者
- 平成29年 合唱団優喜所属
- 令和2年 鳥取女声合唱団団長就任
- 令和4年 米里地区公民館コーラス指導者

【芸歴・著作歴】

高校、大学時は坂本朱美氏、鳥取では平野弘子氏、ドイツ歌曲は飯田純子氏（東京）、フランス歌曲は村田健司氏（東京）に師事する。

留学中はルドルフ・クノール氏に発声を学ぶ。

- 平成3年 帰国記念リサイタル ドイツ歌曲の夕べ開催
鳥取ゾリステン 新人演奏会出演
- 平成4年 飯田ヴォイススタジオ ドイツ歌曲の夕べ出演
- 平成5年 西川加寿子ソプラノリサイタル開催
- 平成7年 鳥取声楽の会 歌曲とオペラアリアの夕べ出演
- 平成8年 第九米子公演推進委員会 モーツァルトレクイエム出演
鳥取オペラ研究会 「河童譚」出演
- 平成9年 夢みなと博覧会ステージ「忍冬すいかずら」出演
西川加寿子ソプラノリサイタル イタリアの風開催
- 平成11年 鳥取オペラ協会 「フィガロの結婚」出演
- 平成14年 国民文化祭とっとり 「ポラーノの広場」出演
- 平成18年 鳥取オペラ協会 「コジ・ファン・トゥッテ」出演
- 平成20年 鳥取オペラ協会 「金の斧、銀の斧」出演

平成23年 鳥取オペラ協会 「窓 ウィンドウズ」出演
平成30年 鳥取オペラ協会 「ヘンゼルとグレーテル」出演
令和5年 県民による第九公演とっとり ソリストを務める
令和7年 尾前加寿子の My favorite concert 開催

その他、アザレア音楽祭（倉吉）や宗教曲のソリスト、Opera～s☆の一員としても活動している。

【作品に対する思い】

演奏する作品の特徴、作曲家の傾向、言語、役の思いなど加味しながら、独りよがりにならない様、現在でも平野弘子氏に指導いただいている。

【活動に対する思い】

依頼されると否と言えない、むしろ嬉しくてやりたくなる性格なので、こんなにも繁く活動していたようです。一年があっという間に過ぎていきます。

第51回 鳥取市文化賞受賞者

もり かずゆき
森 和之〔陶芸〕



【受賞理由】

青谷町の古民家で陶芸活動を行っており、自然に向き合いながら偽りのない創作を続けている。自分しかない技法を用いた磁器の美を探究しており、繊細な濃淡の瑠璃釉や青白磁を生み出すことで硬さの中に際立つ柔らかさを表現している。

川上奨励賞の受賞や日本伝統工芸展での入選など、厳しい陶芸界での評価も高い。また、自らの陶芸の活動に加え、他の芸術活動家への支援活動も積極的に行っており、広く鳥取市の文化芸術に貢献している点も大きい。

【経歴】

昭和54年	鳥取県鳥取市出身
平成16年3月	大阪芸術大学工芸学科陶芸コース卒業
平成18年4月	前田昭博氏に師事
平成19年8月	日本伝統工芸展に初入選
平成23年4月	鳥取市青谷町にて独立
平成28年	日本工芸会正会員に認定される

【受賞歴】

平成27年	第58回日本伝統工芸中国展「鳥取県知事賞」
平成30年	第61回日本伝統工芸中国展「日本工芸会賞」
令和7年	川上奨励賞（鳥取市）

【芸歴・著作歴】

平成18年4月	前田昭博氏に師事（5年間）
平成19年	日本伝統工芸展入選
〃	日本陶芸展入選
〃	長三賞陶芸ビエンナーレ入選
〃	茶の湯の造形展入選
平成21年	日本伝統工芸展入選
〃	茶の湯の造形展入選
平成23年	日本陶芸展入選
平成25年	日本陶芸展入選
〃	茶の湯の造形展入選
平成26年	日本伝統工芸展入選
平成27年	日本陶芸展入選
平成28年	日本伝統工芸展入選
平成29年	日本伝統工芸展入選
平成30年	日本伝統工芸展入選

令和 元年	茶の湯の造形展入選
令和 2 年	日本伝統工芸展入選
〃	日本陶磁協会中四国奨励賞展入選
令和 3 年	日本伝統工芸展入選
令和 4 年	日本伝統工芸展入選
令和 6 年	日本伝統工芸展入選
令和 7 年	日本伝統工芸展入選
令和 8 年	日本伝統工芸展入選

代表作品 「瑠璃釉壺」

県内外のデパート、ギャラリー等で、独立以後、毎年個展を開催

【作品に対する思い】

独立当初は白磁・青白磁を創作していましたが、平成26年頃からブルーの「瑠璃釉」の創作に取り組むようになりました。ろくろで土を自分の想いを込めて形をつくる事が基本です。その中、自分らしいブルー（青の世界）を表現していきたいと思います。

【活動に対する思い】

一職人であり、作家でもあり、土という素材と向き合いながら、伝統の中で自分らしい作品をこれからも作り続けていきたいと思っています。